授業科目　地域保健指導論

【担当教員名】	対象学年	3	対象学科	看護学科
西脇友子	開講時期	前期	必修・選択	必須
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：ＧＩＯ>】

地域で生活する人々の健康を保持増進するために必要な技術である、保健指導について理解する。

【<学習目標>又は<行動目標：ＳＢＯ>】

1．地域看護活動における保健指導の位置づけと目的を説明する。
2．保健指導を実践するために必要な理論を説明する。
3．個人や家族、集団に対する保健指導の方法を知る。
4．住民が主体的に健康を保持増進する活動を支援する方法を知る。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	既存の学習から保健指導の目的、対象、特徴を想起し、再認識する。	1	講義
2	すでに学習した保健指導に活用できる理論と保健指導を結びつける。	2	講義
3	集団に対する保健指導の展開方法を知る。 健康診断、集団やグループに対する健康教育、健康学習	3	講義・個人ワーク
4	集団に対する保健指導の展開方法を知る。 健康診断、集団やグループに対する健康教育、健康学習	3	講義・個人ワーク
5	個人や家族に対する保健指導の展開方法を知る。 健康相談、家庭訪問	3	講義・個人ワーク
6	個人や家族に対する保健指導の展開方法を知る。 健康相談、家庭訪問	3	講義・個人ワーク
7	地域組織活動の支援方法を知る。	4	講義

【使用図書】	<書名>　<著者名>　<発行所>　<発行年・価格・その他>
教科書 （必ず購入する書籍）	標準保健師講座２　地域看護技術　医学書院　最新版　3150円
参考書	最新保健学講座３　地域看護支援技術　メデカルフレンド社 松下拡　健康学習とその展開　勁草書房
その他の資料	国民衛生の動向や厚生労働省、総務省発表の統計資料

【評価方法】

課題レポート・試験　90％
出席　10％

【履修上の留意点】

3年後期の地域看護学実習に直結する授業で、今まで学習してきた内容を応用する授業である。既習学習で使用した資料や学習成果を整理し、復習しておく必要がある。

看護学科専門